



わかば

流山市立北部中学校
令和2年6月1日
生徒数 529名

「ピンチをチャンスに！！」

校長 大館 昭彦

初夏のたよりがいつの間にか入梅に変わりました。新型コロナウイルスの影響は様々なところに影を落としてきましたが、ようやく今日から、分散登校の形ではありますが、授業を再開することができました。休校期間中におきましては、大変お忙しい中、教材配布や担任からの電話連絡等についてご対応いただき、ありがとうございます。お陰様で無事本日を迎えられると思います。学校再開にあたり、北部中では様々な取り組みをしております。詳細は本日配布させていただきましたプリントに記させていただきますが、いずれにしても、生徒たちの安全確保を最優先に、今まで授業ができなかった分も含め、長期的な見通しを持ちながら、学習を確実に進めて参ります。しばらくの間は変則的な登校になりますが、更なるご理解・ご協力をお願い申し上げます。

さて、登校した際の生徒たちの様子を見ていますと、やはり友達と会えるのはとても嬉しいようです。最近の報告で、3月の休校が始まった時点と比較して、全国に緊急事態宣言が発令された後では、生徒たちの意識に大きな変化が生じているというものがあります。段々と外出に対する不安、感染に対する恐怖心が増しており、なかなか外出も難しくなっているケースがあるとのことでした。北中生のご家庭での様子はいかがでしょうか。学校では、スクールカウンセラーが原則木曜日に勤務しておりますし、日常も担任は勿論、養護教諭等による教育相談を推奨しています。何か不安なことがございましたら、遠慮なく相談に来るよう、生徒たちにもご指導いただければ幸いです。

今回の新型コロナウイルスの問題は、社会の至る所に影を落としています。生徒たちが楽しみにしていた行事も、多くが中止になりました。ただ、負けてばかりはいられません。限られた条件の中でも発想を転換することで、新たな機会が得られることもあります。「ピンチをチャンスに」、例えば社会全体がテレワークを推奨する方向に変化していくように、学校でも今までとは違う形での様々な教育活動を取り入れながら、生徒個々の可能性を更に伸ばせるよう取り組んで参りたいと思います。今3年生は、代わりの活動として何ができるか、生徒たちの考えを集約しています。最上級生としての誇り、「北中魂」を常に意識して生活してくれていた生徒たちです。新たな伝統を、今までの先輩たちが築き上げてきたものの上に築き上げてくれたらと思います。

『伝統の上に、新しい伝統を創ろう！』今年度、生徒たちに常に呼びかけていきたい言葉です。様々な制約がまだまだ続きますが、それに負けずに自分たちの目指す誇りを築き上げてほしい、3年生を中心に、各学年が協力して新たな歴史の1ページを創り上げてくれたらと思います。

招かれざる出来事、残念ながら身近に来てしまった今、それを自分たちのメリットになるように受け止めていきたいと思っております。引き続き、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

